

前回（第2回）検討WGの振り返り

【資料1（第1回の振り返り）に対する意見】

1 議事録の公表について

意見：一般の人が参加する会であり、そもそも公表に値するか疑問。議事録全文を各個人で確認するのは大変な作業。要約版であれば確認も楽なので公表しても良いのではないか。

対応：要約版を作成し、内容を確認いただいた上で公表するか再度協議する。

意見2：第1回の意見として、早期の工事着手をお願いした。11番目の項目に入れてほしい。

了解事項：11番目に早期着手を入れる。

【資料2に対する意見】

1 高水敷整備

了解事項：高水敷整備案はカゴマット（又はフトンカゴ）を基本とし、仮設道路を存置することで最低12m程度、広いところで20m程度の幅を確保し、上下流で連続した高水敷が形成されるよう整備する。なお、高さについては満潮時でも水没しない高さとする。

2 河口部の整備

意見1：外尾川の河口部に行くための通路はどのように考えているのか。

対応：外尾川左岸の管理用通路を予定している。市道からのアクセスについてはもう少し検討が必要。

意見2：河口部の堆砂が心配なので導流堤をもっと沖に出せないか。

対応：突堤を砂の移動限界水深まで伸ばしているため、これまでのように河口閉塞することは想定していない。

意見3：保安林については、根腐れが心配なので盛土してほしい。

対応：根腐れを起こさない目安として、地下水位+2.4m程度まで盛土する予定。

3 海水浴場施設検討

意見1：トイレの位置について、今の計画だと小泉の高台から見える可能性がある。敷地の北側に移動するべき。木を植えて木陰も作ってほしい。

対応：施設配置についてはこれから設計を行うため、意見として取り入れたい。

意見2：防災無線は必要。

対応：従前のように警報装置は設置可能。市の防災無線と調整し対応を検討したい。

意見3：国道から駐車場までは大型バスが入れる道路幅となるのか。歩道は付けられないのか。

対応：国道の既設 T 字路交差点位置から幅員 W=7m の 2 車線で新しく市道を整備する予定（既存道路は 5 m 幅員）。歩道については現況がないことから予算的に困難。

4 保安林・排水

前回において修正意見等がないことから資料なし

5 その他意見

意見1：離岸堤について、もう少し沖合に設置できないか。地盤の隆起も考えるべき。

対応：離岸堤位置については沖合に出せるか検討しているが、現計画でも設置水深が深いため、大幅な位置変更は難しい。なお、関係機関である漁協には別途説明の機会を設ける。

意見2：6月議会で防潮堤の質問が挙げられているのか。

対応：特に情報は聞いていない。

意見3：6月29日の新聞報道によれば県に要望書が出されているとのことだが、どのような内容なのか。

対応：即答できないため持ち帰り、会で相談したうえ公開するようにしたい。

意見4：検討会を気仙沼で実施されると遠くて大変。地元で出来ないか。

対応：会場については今後配慮したい。